

■6月～7月中の指導方法について

1. 自宅を出るまで

- ①練習前日および練習に来る前に必ず検温を実施。熱があれば無理に練習に参加しない。
メディカルチェックシートに「検温欄」作成。必ずメディカルチェックシートを提出させ、指導員は確認する。体温は37.5℃を超えていないか確認。
- ②風邪の症状（喉の痛み、咳など）がある、37℃程度が4日以上継続している場合も練習への参加は見送る。
- ③スクール生および保護者はグランドの往復はマスクを着用すること。

2. 到着／集合／挨拶（開始時）

- ①グランドに来たら、荷物を含め複数グループに分けておき、密を作らない。
- ②学年間および前後は2m程度空けて整列、そのままストレッチ。

○←6年生

○←6年生

①	2 m	②	2 m	③	2 m	④	2 m	⑤	2 m	⑥	2 m	中
2 m		2 m		2 m		2 m		2 m		2 m		2 m
①		②		③		④		⑤		⑥		中
2 m		2 m		2 m		2 m		2 m		2 m		2 m
①		②		③		④		⑤		⑥		中

- ③解散については当面各学年で実施。スクールとしては実施しない。
- ④ストレッチ実施時はマスクを着用する。

3. 練習について

- ①学年内で人数を4名～6名程度のグループに分けて、固まって練習しない。またそのグループ毎にコーチが数名付くようにする。練習自体は子供を学年内で数グループに分けて練習して密を作らないように工夫する。目安は1人当たり4㎡の空間を作る。

Aコート Aコート担当コーチ Aグループ（4～6名）	Cコート Cコート担当コーチ Cグループ（4～6名）
Bコート Bコート担当コーチ Bグループ（4～6名）	Dコート Dコート担当コーチ Dグループ（4～6名）

一定時間でローテーション

Aコート Aコート担当コーチ Dグループ（4～6名）	Cコート Cコート担当コーチ Bグループ（4～6名）
Bコート Bコート担当コーチ Aグループ（4～6名）	Dコート Dコート担当コーチ Cグループ（4～6名）

- ②中学生は週1回（日曜日のみ）とする。
- ③練習時間は1時間30分以内とするが実際の練習時間は各コーチに任せる。1時間で終わっても構わない。（期間は未定）
- ④7月14日（日）までは運動に体を慣らすためとパスや走るコース等の基礎練習に使う。
コンタクト練習は7月21日（日）以降に開始とする。
※コーチ間で連携しながら練習を考える
- ⑤長く練習していなかったことや、休みが長かったために不安から虚脱感や集中力の散漫が見受けられると思うが、叱ることなく、ケアに努める。
- ⑥練習中にマスクを着用した場合、急性腎不全など重大事故に繋がる可能性があるので着用させないこと。
- ⑦6月に入り梅雨の時期で湿度も高くなること、屋外での運動を長くしていなかった場合を踏まえ、熱中症には注意する。特にコロナ肺炎の初期症状と熱中症の初期症状は非常に似ているので注意する。
- ⑧コーチは密接している状態で大声を出さないようにする。
- ⑨集合した状態で話をするなどの場合は指導員からスクール生にマスクの着用を指示し、全員の着用を確認したうえで会話する。

4. 持ち物

- ①水筒は回し飲みを禁止。必ず自身の水筒で給水する。忘れないように注意を促す。
- ②再度自身の持ち物は名前の記入など確認する。
- ③忘れ物をするなどの際には道具の貸し借りはしない。

5. 練習終了後

- ①練習終了後は子供、保護者ともに速やかに帰宅する。
- ②帰宅時もマスクを着用すること。

以 上